

2025-26 年度

WEEKLY REPORT ROTARY CLUB OF FUKUSHIMA WEST. D2530

よいことのために
手を取りあおう

第
2530
地区

福島西ロータリークラブ会報

会長 宮崎 秀剛
幹事 佐藤 卓立
奉仕プロジェクト
委員会委員長 大平 謹一郎
会報写真担当 朝倉 久仁男

令和7年12月1日(月) 第14回 通算第1747回例会

・例会日/月曜日 12:30 ・例会場/エフズサンパレス ☎ (070) 6557-7808

事務所/福島市万世町2-5 福島銀行本店9F ☎ (024) 536-1010・FAX (024) 536-1011 Eメール/ f-rotary@guitar.ocn.ne.jp

第14回例会 点鐘 12:30

◇開会点鐘 宮崎 秀剛 会長

◇国歌斉唱

ロータリーソング
「奉仕の理想」
ソングリーダー

西形 健吉 会員



◇四つのテスト唱和

佐藤 慶行 会員



◇お客様並びにビジター紹介

米山記念奨学生 イェブ・シャオティン さん

◇米山記念奨学金支給

米山記念奨学生 イェブ・シャオティン さん



◇12月誕生祝い

小野 俊憲 会員 昭和35年12月24日

黒澤 信之 会員 昭和45年12月22日

高橋 智弘 会員 昭和40年12月27日



◇ロータリー財団表彰伝達

佐久間政文会員 (PHF+3)・野尻榮一会員 (PHF+2)

佐藤宗弘会員 (PHF+2)・蔣慧豊会員 (PHF+1)

高橋達也会員 (PHF+1)・宮崎秀剛会員 (PHF)



◇会長あいさつ

宮崎 秀剛 会長



皆さま、こんにちは。

いよいよ12月に入り、今年も残すところあと1か月となりました。

つい先日まで暑さを感じていたのに、今では雪の気配すら漂っております。私も先週、冬タイヤへの交換を済ませました。

12月は「師走」と呼ばれます。

ご存じの方も多いと思いますが、これは師匠である僧（お坊さん）が各地でお経をあげるために、東西へ忙しく馳せ参ずる姿から「師馳す（しはす）」と呼ばれるようになったと伝えられています。

また「年の瀬」という言葉もあります。江戸時代、人々は醤油や米を「ツケ」で買うことが一般的で、年末にはその清算が一度にやってきました。支払いに追われる様子を、川の急流を意味する「瀬」にたとえて「年の瀬」と呼ぶようになったそうです。

このように12月は、まさに「一年の締めくくり」と「新年への準備」が重なる特別な月です。

そして本日の年次総会も、その意義に通じるものがあります。過ぎゆく一年を財務報告や活動の振り返りによって整理し、同時に次年度の役員・理事を選出し、未来への備えを整える。まさに「師走」の精神を体現する場といえるでしょう。

さて本日のプログラムですが、まず年次総会として次年度役員・理事候補者の選挙、前年度財務報告、そして現年度中間財務報告を行います。その後、「上半期を振り返って」というテーマで、会長・幹事によるスピーチを予定しております。

暦と違い、ロータリー年度は7月から翌年の6月までですので、進捗状況の確認と次年度に向けた準備という形になります。

私も後ほどスピーチのお時間をいただいておりますので、この場では別のお話をさせていただきました。

それでは、本日もどうぞよろしく願いいたします。

◇年次総会

○次年度役員・理事候補者の選挙

クラブ細則第5条第1節に則り、只今より2026-27年度の役員・理事候補者の選挙を行います。

なお、本日の例会は定足数（会員総数の3分の1）を満たしておりますことご報告申し上げます。

*寺島会長エレクトより、候補者名が読み上げられ、選挙は満場一致となり、次年度(2026-27年度)会長寺島英樹会員より挨拶を頂戴しました。（下表の通り）

○前年度財務報告並びに現年度中間財務報告

クラブ細則第9条第5節に則り、前年度財務報告が寺島直前会長より、現年度中間財務報告が会計の久米允彦会員よりご説明頂き、異議なしにて承認されました。

年次総会資料 (2025年12月1日)

2026-27年度 福島西ロータリークラブ 役員・理事候補者 (案)

(敬称略)

会長	寺島 英樹
会長エレクト	佐藤 卓立 (2027-28年度 会長)
副会長	佐藤 宗弘 (2028-29年度 会長)
幹事	宍戸 順一
会計	久米 允彦
S A A	佐藤 慶行
直前会長	宮崎 秀剛
監事 (2名)	佐久間政文 (会長・幹事経験者2名) 西形 健吉
理事 (6名)	行形 裕司 (公共イメージ委員長) 朝倉久仁男 (職業奉仕小委員長) 黒澤 信之 (社会奉仕小委員長) 大平謙一郎 (国際奉仕小委員長) 宮崎 秀剛 (青少年奉仕小委員長) 高橋 智弘 (ロータリー財団委員長)
副幹事	高橋 智弘 (2027-28年度幹事)

◇食 事

◇幹事報告

佐藤 卓立 幹事

○お知らせ (例会変更等その他)

- 本日、午後6時30分よりウィズもとまちにて12月理事会を開催いたします。理事役員の皆様は宜しくお願い致します。
- 12月5日(金)国際ソロプチミストチャリティーコンサートが開催されます。当クラブより佐藤卓立幹事が出席いたします。
- 12月6日(土)金田昇ガバナーエレクト国際協議会壮行会が開催されます。当クラブより、宮崎秀剛会長 佐藤宗弘会員が出席いたします。

- 12月ロータリーレートは1ドル156円となりますので、お知らせいたします。

委員会報告

◇公共イメージ委員会

朝倉 久仁男 委員長

- 「ロータリーの友」
12月号の紹介



◇プログラム・出席スマイリングボックス小委員会報告

久米 允彦 会員



○宮崎秀剛会長

本日の年次総会、会長スピーチ宜しくお願いいたします。

○佐藤卓立幹事

本日は反旗を振り返ってのスピーチさせていただきます。宜しくお願いいたします。

○寺島秀樹会員

次年度役員に選出の方々におかれましては宜しくお願い申し上げます。

○高橋智弘会員

誕生祝有難うございます。60歳になりますが実感がありません。皆さん、宜しくお願いいたします。

○朝倉久仁男会員

若いと思いきり切りすぎてしまいました。皆様にはご迷惑お掛けしました。年内には完治しますので宜しくお願いいたします。

○西形健吉会員

申し訳ありませんが12月は日程が重なり、出席は本日が最後となります。皆様、良いお年を！

○行方裕司会員

昨日はお祝いいただき有難うございました。

○佐藤宗弘会員

高橋智弘会員の還暦祝い、会長・幹事スピーチに添えて

佐藤慶行会員／宍戸順一会員／佐久間政文会員／
大平謹一郎会員／高梨哲男会員／久米允彦会員

◇本日のプログラム

- ◆「上半期を振り返って」

宮崎 秀剛 会長



改めまして、皆さんこんにちは。

今年度、福島西ロータリークラブ会長を仰せつかり、早くも5か月が過ぎました。本日12月1日で6か月目に入ります。

本日の年次総会では、寺島英樹会長年度の次年度役員・理事候補者の選挙が行われ、無事承認されました。

私も含め、皆さんも様々な団体に所属し役員を務めておられると思いますが、始まる前の予定者の段階が最も忙しいものです。準備を重ねてもなかなか始まらない。しかし年度がスタートすれば、予定通りに進めていくだけです。もちろん忙しいのですが、スケジュールを調整し、皆様のご協力をいただきながら進めています。

来年6月には「1年間を振り返って」というテーマで改めて会長スピーチの機会をいただいております。その時に、どのようなお話ができるか、今から楽しみにしています。

さて、次週12月8日のプログラムは、県北第一分区ガバナー補佐による3回目のクラブ訪問です。1回目は7月のガバナー公式訪問、2回目は9月の理事会時でした。

そこで依頼されたのは「福島西ロータリークラブで100%出席例会をぜひ実現してほしい」というものでした。

理事会でも協議し、1月26日の創立記念夜間例会に合わせ、クラブ全会員が出席し、「100%出席例会」を実現することを目指しています。

なぜ「100%出席例会」が求められるのでしょうか。私も少し考えてみました。

県北第一分区7クラブ会長の中で、相良ガバナー補佐がいちばん頼みやすかった、というのがあるかもしれませんが、きっとこれが良いきっかけになるからだと思います。

それは単なる数字の達成ではなく、例会が親睦と自己研鑽の場であるからです。

全員が揃うことでクラブの多様性が保たれ、仲間意識が深まります。

だからこそ、私たち福島西ロータリークラブでも『100%出席例会』を実現し、クラブの力をさらに高めていきたいと思えます。

先日も出席が難しい会員には、会長・幹事で職場を訪問し、趣旨を説明して出席をお願いしてきました。

今年度は会員増強にも力を入れています。すぐに成果が出るものではありませんが、先日の国際ロータリー第2530地区会員増強・DEI委員会、西山由美子委員長のスピーチにもあったように、「全員で目標を共有し、次へつなげること」が大切です。

来年の寺島会長エレクト年度の2年間で会員30名を目標に掲げました。

現在22名ですので、あと8名の増強が必要です。これは決して大風呂敷ではなく、今後の活動の充実と持続的な発展を見据えれば不可欠なことです。

会長だけに負担を押し付けるのではなく、互いに補い合いながら進めることが重要です。私自身、出席できない時には代わりに参加していただき、大変助かっています。

ロータリーの活動は、一人ひとりの力が集まって初めて大きな成果を生みます。しかし人数が少なければ奉仕の幅も限られます。組織が整えば役割分担が明確になり、活動は効率的かつ継続的に進みます。例会や委員会が機能することで、クラブ全体が「動く仕組み」として安定します。

会員増強の意義は、新しい仲間が加わることでクラブに新しい視点や専門性が生まれることです。会員数が増えれば奉仕活動の規模や影響力が拡大し、地域社会への貢献度も高まります。

ロータリーは、人の輪が広がるほど奉仕の輪も広がります。

私たち福島西ロータリークラブも、仲間を増やし組織をさらに整えることで、より力強い奉仕を実現していきたいと思えます。ぜひ皆さまのお知り合いにもロータリーの魅力を伝えていただき、クラブの未来を共に築いてまいりましょう。皆さまのお力添えを心よりお願い申し上げます。

最後になりますが、本年度のクラブスローガンは「**基本に忠実 変化に対応**」です。

この姿勢を胸に、残り半年の活動を一層充実させ、クラブの基盤をさらに強固にしていきたいと思います。

特に、来年2月には私たち福島西ロータリークラブが主幹となり県北第一分区の「インターシティミ

ーティング」を開催いたします。これは、分区内のクラブが一堂に会し、交流と学びを深める大切な機会です。互いの経験や知恵を共有し、クラブ間の連携を強めることで、地域全体の奉仕活動の質を高めることができます。私たちが主幹を務めることは、クラブの存在感を示すと同時に、会員一人ひとりの成長と誇りにつながるものです。

この「インターシティミーティング」を成功させることは、今年度後半の大きな成果であり、次年度の寺島会長エレクト年度へと確かな力を引き継ぐものとなります。創立記念例会での100%出席の実現、そして会員増強によるクラブの発展と合わせて、クラブの未来を切り拓く大きな一歩となるでしょう。

私たち福島西ロータリークラブは、仲間の輪を広げ、奉仕の力を高め、地域社会により大きな貢献を果たしていくクラブです。

残り半年を「飛躍の期間」と位置づけ、次年度につながる成果を必ず築いてまいります。

どうか皆さまのお力添えをいただき、共に未来を創り上げてまいりましょう。引き続きご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

◆「上半期を振り返って」

佐藤 卓立 幹事



本日は、半期を振り返りと言う事で、スピーチの時間を頂きました

スピーチは、あまり得意では無いので、まとまりのない話になるかと思いますが

少しの時間ご辛抱頂ければと思います。

今回3回目の幹事ですので、過去の経験を活かしながら上半期クラブ幹事を務めさせて頂きました。3回目となりますと過去2回と比べ緊張感と真摯に向き合う姿勢にかけてしまい、抜けてる所がありましたら遠慮なくご助言いただければと思います。

幹事としてのスタートは、今年2月に当クラブホストで開催されました幹事エレクト研修セミナー・通称SETSからとなります。阿久津PGより、改めて幹事としての心得、そして幹事の役割や手続き要覧等の講義をいただきました。

クラブ定款・手続き要覧等を最近目にして無かったので、色々忘れていたなど改めて勉強させて頂きました。

4月にウイズ本町にて県北第一分区2025-26年度の第一回会長・幹事会開催され2025-26年度の各クラブのホスト行事について話し合わせ、当クラブのホスト行事は、来年2月28日に予定されているIMのホストと決まりました。

例年のIMと違い『ルネッサンスデー』の名称で当日は、3クラブがそれぞれホストとなり、3つの行事を1日で開催するとのことになりました。

11月の理事会にてIM実行委員会組織(案)を承認して頂き、11月21日に県北第一分区相良ガバナー補佐・三宅・岩見両分区幹事・宮崎会長・佐藤宗弘実行委員長・高橋智弘実行副委員長にご出席のもと第一回IM実行委員会を開催させて頂きました。

3行事同日開催ですので、県北第一分区・当クラブの役割分担・予算の取り扱い等を含め確認をさせて頂きました。

ある程度中身については摺り合わせが出来ましたので、今後クラブ内で実行委員会を開催し、役割分担等会員の皆様と進めて行きたいと思っておりますので、ご協力をお願い致します。

また相良ガバナー補佐より100%出席例会の実施を当クラブに依頼を受けました。

来年1月26日開催予定の創立記念夜間例会を会員出席100%例会にしたいと思います。

会員の皆様には、例会出席の予定を入れていただき100%出席を達成する事にご協力をお願い致します。

ここまでは、下期の行事のお願いばかりになりましたので、ここからは上期を振り返らせていただきます。

5月に地区研修・協議会が、飯坂で開催され何年振りかで開会セレモニー～分科会に出席しました。

そしてあっという間に7月3日になり、当クラブ例会より先に5年ぶりに福島RC例会にメーキャップして新聞各社・市・に表敬訪問、7月7日は2025-26年度第一回目の例会が開催され3回目の幹事スピーチさせて頂きました。

その晩の理事会では思い出しながら例会・理事会の進行させて頂き久しぶりなので、緊張の1日でした。

7月28日は泉田RI第2530地区ガバナー公式訪問・例会、30日には歓迎晩餐会。

8月は佛母寺にて早朝座禅例会開催・納涼夜間例会

9月はお月見夜間例会・会員増強委員会の開催、

第28回福島西ロータリークラブ杯少年野球大会代表者会議。

10月は25・26日に浪江にて地区大会開催され、RI会長代理歓迎晩餐会・翌日は、地区大会本大会が、開催されこちらについても、何年振りかで泊まりでの出席となりました。

11月は第28回福島西ロータリークラブ杯少年野球大会を2日間にわたり開催。

12月は、本日のスピーチをさせて頂き、来週のガバナー補佐公式訪問例会・再来週のクリスマス夜間例会の開催を残し半期を、会員・理事・役員の皆様と事務局の小澤さんにご協力を頂き何とかこなすことができそうです。ありがとうございました。

1月5日の新年合同例会より、残り半期がスタートいたします。

これから分区の行事が毎月開催されます。

先程お話をさせて頂きました2月28日には、当クラブホスト行事IMの開催を予定しておりますので、重ねて残り半期についても、会員の皆様と事務局小澤さんの絶大なるご協力をお願い致しましてスピーチとさせて頂きます。

◇閉会点鐘

宮崎 秀剛 会長

◇会報カメラ担当

朝倉 久仁男 公共イメージ委員会委員長